1
January 2016
第741号
平成28年1月1日発行
（毎月1日発行）

［広報］

さめがわ

Public Relations SAMEGAWA

新年あけまして
おめでとうございます



【特集】 夢の実現に向けてがんばる若者たち

鮫川の若者力

ふる里文化芸能発表会で
日本舞踊を披露した舟木花さん



安全で安心して暮らせる村
人が集まる魅力ある村に

鮫川村長 **大樂勝弘**

皆さまには、輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお喜びを申し上げます。村政に対しましては多くの方々にご参加いただき深く感謝を申し上げます。

昨年は、エルニーニョ現象の影響で冷夏が予想されましたが、農作物は平年並みの収穫をあげることができました。今年も好天に恵まれ、豊穣を期待するものであります。

平成23年3月の東日本大震災から間もなく5年になろうとしています。住宅周辺および牧草地の除染作業は完了しました。米の全量全袋検査をはじめ農産物の検査につきましては、線量がほとんど出ていない状況であります。環境省が取り組んでおりました放射性物質減容化のための仮設焼却炉につきましては、昨年7月をもって稼働を完了しました。現在、解体工事が進められ今秋には完了の予定でありますが、解体作業や搬出作業に当たりましては放射性物質が飛散することのないよう監視してまいります。震災対策のハード面はほぼ完了の見込みがつきました。これからの課題は依然として残っている放射能の風評被害払拭にありますので、その対策を継続して進めてまいります。

次に、少子・高齢化が進行する中で、今後、急激な人口減少が予想されますが、村は、この人口減少を食い止めるため、検討委員会を設置して人口ビジョン・地方創生総合戦略の策定を進めています。これまでも、若年人口対策として、結婚相談所の開設や結婚祝金支給、妊産婦・こども医療費助成、乳幼児紙おむつ代支給、子ども手当、こどもセンター等育児環境の充実、大学生に対する奨学金制度などを実施してまいりましたが、新年度事業として、高校生に対する応援手当的なものを検討しています。

次に、「湯の田上ノ湯温泉」の利用です。温泉の一部を村民保養施設「さぎり荘」に引いて使用し好評を博していますが、廃屋については今年度中に取り壊すことで工事を進めています。現在、検討委員会を立ち上げ、周辺一帯の景観を整備して有効利用を図るための構想を策定しているところであります。

1日も早く東日本大震災からの復興を図り、安全で安心して暮らせる村、人が集まる魅力ある村づくりのために、これまでにも増して努力してまいりますので、皆さま方の積極的なご提案、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年も皆さまにとりまして最良の年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

謹賀新年



共に行動し汗を流し
信頼される環境づくりを

鮫川村議会議長　**星　一彌**

新年明けましておめでとうございます。村民の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の村議会議員一般選挙で、定数削減の実施により10人の議員が誕生しました。その中で、不肖私が、指名のもと議長をお引き受けすることとなり、責任の重大さを痛感しております。

議員一人一人の思いと地域の願いなど「活力ある村づくり」を実践するにはどう行動するべきかを話し合ってまいりました。その中で「ないものねだり」ではなく、議員自らが村民の皆さまと共に行動し汗を流し、信頼される環境づくりを目指すべきとの結論にいたりました。新たに議会モニターも導入し活力ある議会をさらに推進してまいります。また議会報告会も取り入れる計画で進めており、適切な時期を検討し実施して行きますので、皆さまのご指導ご協力をお願いいたします。

昨年は、こどもセンターのお遊戯会の他、青生野小、鮫川小、鮫川中の学習発表会の様子や活動状況を拝見する機会を得ました。「さめがわっ子」の行動や活動で感動にふれることができ、特に創作劇に取り組んでいる姿に、何度となく胸が熱くなることがありました。子どもたちの純真さと何事にも挑戦する気持ちを捨てずに育んでほしいと願っています。

平成27年の世相を一文字で表す漢字は「安」と決定されました。昨年は安心・安全へと期待されましたが、各地の豪雨、中国の経済、ＴＰＰ締結、国際テロ、安全保障、消費税増税など、安心への道が遠く感じられる1年でもありました。

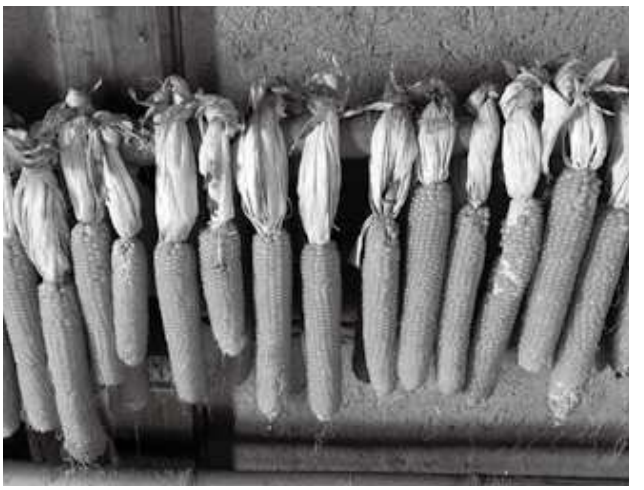
また本村においても、原発事故から４年９カ月が経過してもいまだに残る風評被害、遊休農地の増大、農業従事者の高齢化など、不安を解消する政策は見えませんが、若い農業の担い手と考えを共有し、村の特性を生かした農林産物を生み出す努力も必要であり、議会としても応援して行きたいと考えております。

これからは、交流化社会の時代です。クロカンコースの増設、鹿角平施設の整備、さぎり荘の源泉の充実など、人が集まる施設が整備されつつありますが、今後も道路の整備、携帯電話の圏外地域の解消など、早急に解決すべき課題もあります。山積する難題でも行政と向き合い、村民の負託に応えるように努力してまいりますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

皆さまには、今年も良き一年でありますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

農者の伊藤真之さん。寒空の下、作業に打ち込みます











さめがわdeマルシェ実行委員会のメンバー。達成感からか、すがすがしい表情



鮫川の若者力

夢の実現に向かってがんばる若者たち

Special Edition





本誌10月号、11月号では、高齢者の活躍を紹介しました。
では、活躍しているのは高齢者だけでしょうか。
少子化、都市への人口流出などにより
若者が少ないといわれる中でも
鮫川村で夢を実現しようと、鮫川村を盛り上げようと
奮闘している若者は少なくありません。
今月号では、2015年に夢の実現に向かって
一歩踏み出した2組の若者たちを紹介します。

さめがわdeマルシェ実行委員会

自分たちがやりたいことを形に 何もないから何でもできる







上_ゆったりとした音楽で来場者を癒やした野外音楽ライブ。会場には穏やかな時間が流れた／下_幼い子どもも手拍子をして歌声に聴き入った

鮫川村を楽しくしたい

9月20日、「手まめ館」を会場に行われた「さめがわdeマルシェ」。会場には、手作り雑貨、飲食、ワークショップなど、約20の店が並び、親子や小・中学生などを中心に、村内外から約1000人が訪れました。

主催したのは、20・30代の有志で構成する「さめがわdeマルシェ実行委員会」。田人で行われた同様のイベントに参加したことがきっかけとなりました。発起人の鈴木亜希子さんは「せっかく鮫川村に住んでいるなら、ここを楽しくしたいと思いました。楽しいものがないなら、自分たちで作ればいいんです」と目を輝かせます。

信頼できる仲間がいたから

初めてのことばかりで、手さぐりの状態から始まりました。しかし、「やりたい」「できる」という強い思いから、不安はなかったといいます。それは、信頼できる仲間がいたからこそ生まれたものでした。実行委員長の関根巨樹さんは「同じ気持ちを持った仲間がいたから実現できました。それぞれ長けているものがあって、誰ひとり欠けても達成できなかったと思います」と話します。

来場者からは「来年も楽しみにしている」「年1回の開催では



鈴木亜希子（あきこ）さん
34　赤坂西野字大塩



関根巨樹（なおき）さん
35　西山字水口

もったいない」などの感想が寄せられ、大好評。また、会場となった「手まめ館」の売り上げも上々で、相乗効果を生みました。

若者向けのイベントが少なかった中、自分たちの力でそれを実現できたことで、実行委員のメンバーは達成感を得ました。「誰かに頼まれたわけではなく、自分たちがやりたいことを形にできたことは大きな収穫です」と、亜希子さんは声を弾ませます。

巨樹さんは「自分たちの姿を子どもや若い人に見てもらいたいです。鮫川村でも楽しいことがあること、自分たちで実現できることに気付いてもらいたいです。何もないから何でもできる。それが鮫川村のいいところです」と強調します。





上_多くの来場者でにぎわったマルシェ会場。さまざまな店が並び、来場者を楽しませた／下_繊細な手仕事による作品が多く、来場者は目移りせずにはいられなかった

課題はあるが不安はない

次回のマルシェに向けて、実行委員はすでに動き出しています。「課題はありますが不安はありません」と巨樹さん。鮫川村らしさを追求したイベントへ成長させたいと意欲を燃やします。

亜希子さんは「この仲間となら何でもできる気がします」ときっぱり。「若い人たちが集まったり、行動を起こしたりするきっかけを作りたい」と続けます。育児中のお母さんを対象にした小規模なワークショップなども企画したいとアイデアは尽きません。

Interview

子どもも飽きずに一緒に楽しめた

蛭田亨さん、歩さん、昇君　塙町



Facebookでイベントを知りました。子ども向けの風船や遊具があったので、子どもも飽きることなく、一緒に楽しむことができました。マルシェのような若者向けのイベントを鮫川村で開催するイメージがなかったので、これからも続けて開催してほしいです。

次回はもっと楽しみたい

佐藤香里さん、楓峨君、寧音ちゃん　西山字水口



同級生のお母さんがやっているクレープが目的で来ました。楽しいですが、小さい子どもがいると落ち着いて楽しめないのが少し残念です。お客さんが多いので、会場が広い方がもう少しゆっくりできるかもしれませんね。次回はもっと楽しみたいです。

認定新規就農者　伊藤真之（まさゆき）さん（29）

農業で生計を立てて
成長した姿を見せられるように



人とのつながりで鮫川村へ

鮫川村で第1号の認定新規就農者として、伊藤真之さんは2015年4月に移住しました。真之さんは、08年に「緑のふるさと協力隊」として1年間鮫川村で生活しており、その経験が今回の新規就農に結びついています。

「鮫川村で生活する中で、食べ物を作ったり、外で体を動かしたりする暮らし方もいいと思ったのかもしれません」と真之さん。

大学卒業後、農業法人で約5年間勤め、農業のノウハウを身に付けました。そして、独立の思いが強くなったとき、当時から面倒を見てくれていたという村民に相談しました。「その人がいなければ鮫川村で就農していなかったと思います。正直、鮫川村よりも条件がいいところはあります。でも、農業は人とのつながりが大切なので、知らない土地に行くことは考えられませんでした」と振り返ります。

人の温かさを実感

就農1年目は、水稲、大豆、エゴマ、ポップコーン、野菜数種類を「手まめ館」などに出荷しました。「収穫の喜びはもちろんですが、毎年条件が違う中で、試行錯誤しながら改善していくところが楽しいです。作物は正直で、自分



選別にかけるため、大豆を袋に入れる真之さん。1人では大変だろうと、我妻トシ子さんが応援に駆け付けた

認定新規就農者とは…

新たに農業経営を営もうとする青年などで、5年後の農業経営の目標などを記した「青年等就農計画」が、市町村から認定された人。認定された農業者は、市町村が定める「人・農地プラン」の担い手として位置付けられ、さまざまな支援を受けることができる。

鮫川村も「鮫川村人・農地プラン」を策定しており、今後、意欲的に農業経営を行っていこうとする農業者は、経営規模、性別、年齢などにかかわらず、積極的に担い手に位置付けていく。

【認定基準】

❶市町村基本構想に適している
❷農用地を効率的・総合的に利用できる
❸達成できる計画である

【支援】

❶農業を始めて間もない時期に、給付金が支給される
❷農地のあっせんや経営に関する助言・指導を受けることができる
❸国や県などの事業を活用できる
❹無利子または低金利で資金を借り受けできる
❺農業者年金に加入すると保険料の国庫補助を受けられる



右_トラクターを乗りこなし、畑を耕す真之さん。農閑期は主にほ場整備を行っている。トラクターは地元の人から無償で借りているという／下_落合地区の田んぼを借り稲作を行っている。この他に畑が約70㌃あり、大豆などを栽培している



の力がそのまま出るので面白い」と魅力を話します。

土地や農機具などは、全て地元の人から無償で借りています。また、人手が必要なときには手伝いを買って出てくれるといいます。

「皆さんのおかげで、初期投資はほとんどかかっていません。協力隊のときにお世話になった人たちが、特に気にかけてくれます」と人の温かさを実感しています。

厳しい状況だが後悔はない

今後は、作付け時期をずらすことを検討しているという真之さん。時期が重なると競合してしまい、売れ残ってしまうからです。

「旬の時期に作る方が作りやすいですが、品種改良も進んで汎用性が出てきているので、少しずつ挑戦したいです」と意欲的です。

当初、周囲からは就農を心配する声が多かったといいます。それでも真之さんの気持ちは変わりませんでした。「本音は農業だけでやっていきたいです。でも、冬に作物を作ることは難しいので、農業を主に、その他で安定した収入を得られるようにしていきたいです。厳しい状況ですが、後悔はしていません」ときっぱり。生計を立てられるようにしたいと、黙々と作業に打ち込みます。

「協力隊のときには何もできなかったので、その恩を少しでも返したいという思いがあります。就農する若い人が少ない中で、少しでも農業で生計を立てて、当時よりも成長した姿を見せられるようになりたいです」と意気込みを話します。

Voice

真之さんを気にかける
我妻トシ子さん（65）　西山字落合

一生懸命な姿を見ると応援したくなる



伊藤君は真面目に農業に打ち込んでいます。几帳面な性格なので、田んぼや畑、道具などはきれいにされています。一生懸命やっている姿を見ると、私たちも応援したくなります。せっかく鮫川村で農業を始めてくれたので、ここで生活できるようになれば最高ですね。

足をひっぱらず温かく見守る

若者の力によって、すぐに地域が変わるということはありません。鮫川村に危機感が芽生えたときに、初めて彼ら彼女らの力が役に立つのだと思います。鮫川村がこのままでは立ち行かなくなりそうになったとき、次のステップに進むために協力してもらうのです。今は、そのときに備えて鮫川村の良さを生かしながら、若者を育てていく時期だと思います。そのためには、彼ら彼女らの足をひっぱらず温かく見守ることが大切です。

マルシェが成功し盛り上がりを見せている今、行政はこうした若者たちの取り組みを積極的にバックアップするべきです。補助金だけではなく、お金がかからない支援もあります。例えば、場所の提供、機材の貸し出し、「手まめ館」との橋渡しなど、さまざまな支援が考えられます。支援する上で難しいことは、若者の主体性を奪わないことです。行政はお金や人を出し過ぎず、プラスαのソフト面の支援で、彼ら彼女らが動きやすい環境をつくることが重要です。これは新規就農者に対しても同じ事がいえます。

協力してほしいことを若者たちに聞く。反対に、行政が協力できることを彼ら彼女らに提示する。お互いができる事は何かを具体的に示すことが近道だと思います。

むらおこしのカギは鮫川村の中に

若者はもとより、女性が意見を出せる環境が必要だと思います。マルシェのようなイベントは、女性の意見を引き出せるか、そのような場をつくれるかに成否がかかっています。鮫川村ではそれができていると思います。だからマルシェは成功したのです。また、農家民宿は女性の力なしでは成り立たない良い例です。これらのやり方一つをとっても、「むらおこし」のさまざまな事に応用ができます。

鮫川村ではすでに多くの「むらおこし」が実践されており、たくさんのヒントが「貯金」されています。残念なのはそれらのヒントがつながっていないことです。ヒントをつなぐカギは、鮫川村の中にあります。農業の名人、加工技術に長けている人、農家民宿の経営のノウハウを持った人など、地元で生活している「先生」です。つまり、「先生」は大学ではなく、鮫川村にいるのです。彼ら彼女らに教えてもらう場を設けることで、これらヒントがつながるきっかけになるかもしれません。

若者が活躍できる土壌がある

マルシェの成功によって若者を見る周囲の目が変わったり、緑のふるさと協力隊をきっかけに新規就農者を受け入れたり、大学生を長年にわたって受け入れたり、鮫川村には若者が活躍できる、ヨソ者を受け入れるだけの土壌があると思います。あとは、村民の皆さんが恵まれた鮫川村の土壌に気付き、自信を持って行動するだけです。

その土壌に気付けないときは、常日頃から交流している大学生や都市住民から、鮫川村の良さをみんなで聞く機会を設けましょう。それがすぐにでもできる環境に鮫川村はあります。だから、自分たちが置かれている環境に自信を持ってください。それが次のステップにつながります。胸を張って進んでいってほしいと思います。

INTERVIEW

鮫川村の若者、女性たち 自信を持って行動しよう

うつくしまふくしま未来支援センター
特任准教授　**高木　亨さん**



たかぎ・あきら●1970年６月東京都生まれ。立正大学大学院文学研究科地理学専攻博士後期課程修了後、高崎経済大学、立正大学などを経て、2012年３月から現職。本年度、本村のクラインガルテンのアドバイザーを委嘱。

若者が活躍できる、ヨソ者を受け入れる土壌があるということは、言い換えれば、若者が夢の実現に向かってがんばれる土壌があるということではないでしょうか。そのことをさめがわdeマルシェ実行委員会と伊藤真之さんは、気付かせてくれました。

昨年８月に行われた「クラインガルテン講演会」で、高木亨特任准教授は「ヨソ者を受け入れるためには、地域の力、懐の深さが重要」と強調していました。つまり、ここでいう「土壌」とは、「地域の力」「懐の深さ」。実行委員の巨樹さんと亜希子さんにとっては仲間に、真之さんにとっては地域の人たちに「懐の深さ」があったということです。

２０１６年、夢に向かって一歩踏み出してみませんか。「夢がない」という人は、その大小にかかわらず夢を探してみませんか。村には、夢に向かってがんばる若者を応援したり、協力したりする人たちがいるのですから。

夢に挑戦することで、生きがいや幸せを感じることができます。取材した３人の表情がそのことを物語っていました。ただ人口が増えればいいのではなく、生きがいや幸せを感じられる場所こそが、「いいまち」ではないでしょうか。村は、若者、女性、そして子どもが自己実現できる環境づくりに積極的に取り組んでいきます。

鮫川村の土壌で夢という種を育てて花を咲かせよう



2015年12月下旬、二反田地内で撮影した梅の花。暖かい日が続いたからか、季節はずれにもかかわらず10輪ほどが咲いていた

一斉除雪・排雪作業報償金を支給

村は、一斉除雪が行われた日に、トラクターなどの重機で公道などの除雪および排雪作業を行った場合、報償金を交付します。

交付請求に必要な作業日誌を事前に配布します。また、実施区域が分かれば住宅地図の写しを配布します。実施を予定している人は、降雪前に役場地域整備課へお越しください。

対象組織　各行政区

対象活動　一斉道路除雪が行われた日に、次の場所で実施した除雪および排雪作業▼①国道、県道、村道などの公道②地域住民が利用する集会施設の道および駐車場③高齢者および身体障害者世帯で、自力で除雪することが困難な世帯の私道

報償金額　重機の稼働時間に応じて1台当たり1時間千円（30分以上は1時間、30分未満は切り捨てとする）

交付までの流れ　①作業従事者は、重機で除雪後、作業日誌、実施場所の地図を区長に提出（実施日から3日以内）③区長は、行政区の作業実施報告書、口座振替依頼書を作成して村に提出（実施日から1週間以内）④村は、書類を確認して報償金の額を確定し、行政区に支払う

その他　作業日誌および地図の写しは、平日だけ配布します。土日、祝日、年末年始は配布できませんので、ご了承ください。

問村地域整備課建設係☎㊾31 16

「ゆうきくん」を特別価格で販売

村は、農業の基本である「土づくり」を推進しています。村内の家畜の排せつ物を完熟させた良質なたい肥「ゆうきくん」を利用し、農薬や化学肥料に頼らない安全・安心な農産物を生産してみませんか。

料金　1㌧当たり3千円（散布料込み）

申込期限　28年3月31日㊍まで
※28年6月までに散布

散布条件　▶下限面積が1ほ場当たり5㌃で、申し込み面積が20㌃以上▶ほ場の条件により散布できない場合があります。▶誤散布防止のため、作業前にほ場の確認を行いますので立ち会いまたは目印の設置に協力してください。

問村豊かな土づくりセンター「ゆうきの郷土」☎㊾3474



第一号被保険者の国民年金基金制度

国民年金基金は、自営業、農業などの国民年金の第一号被保険者の皆さんがゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乗せする公的な年金制度です。

加入できるのは、国民年金に加入している20歳以上60歳未満の人および60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している人です。

掛金は全額社会保険料控除で、受け取る年金は公的年金等控除の対象になり、税制面で優遇されます。万が一、早期に亡くなったとき、家族に遺族一時金が支給されますので、掛け捨てになりません（B型を除く）。加入は任意で、さまざまな年金のタイプから現在の状況や将来設計に合わせて選ぶことができます。

問県国民年金基金☎0120㊺4192

村奨学基金奨学生を募集

村教育委員会は、次のとおり鮫川村奨学基金の奨学生を募集します。

募集期間　28年2月17日㈬～3月31日㈭

応募資格　▼品行が正しく、学術に優れ、体が強健である▼鮫川村に引き続き5年以上住んでいるか、住んでいたことがある▼高等学校、高等専門学校、大学などに在学または今春入学予定の人▼経済的理由により修学が困難と認められる▼国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額　▼高等学校・各種学校（1～3年）…2万円以内▼高等専門学校…5万円以内（3年までは2万円以内）▼大学院および大学・短期大学・専門学校…5万円以内

貸与期間　28年4月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還　▼貸与は無利子で、卒業後6カ月から毎月、10年以内に償還すること（全部または一部を一時償還することができます）▼大学および大学院を卒業後、鮫川村に居住し、農林水産業または保健、福祉、医療の向上を図るための資格を取得し、村内に10年間就業した人は奨学金の返還を免除されます。

奨学生の決定　選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

㊐村教育委員会教育課☎㊾3151



鮫川村成人式

成人の門出を祝福し、成人としての自覚を促すために式典を行います。

日時　1月10日㊊10時～

会場　村公民館

㊐村教育委員会教育課☎㊾3151

20歳になったら国民年金加入手続きを

成人式を迎えられる皆さん、おめでとうございます。

皆さんにとって「年金」は「まだまだ先のこと」という認識ではないでしょうか。しかし、老後は誰にでも平等に訪れるものです。

日本に住む20歳から60歳までのすべての人は、公的年金に加入し保険料を納付することが義務付けられています。20歳になった皆さんも、すでに厚生年金や共済年金に加入している人を除き、成人の責任として国民年金の加入手続きを忘れずに行いましょう。加入手続きは、20歳の誕生日の1日前からできますので、日本年金機構から直接、本人に送付される届出用紙または役場住民福祉課住民係に備え付けの届出用紙に氏名などを記入し、届出をしてください。



なお、国民年金には保険料の支払いが困難な場合に、申請により保険料が免除される制度や、学生および30歳未満の人には保険料を後払いにできる納付特例、納付猶予制度がありますので、希望される人は忘れずに申請してください。

公的年金は、老後の保障だけでなく、万が一の障害や死亡に対する保障もしています。社会を支える一員として、公的年金の加入手続きおよび保険料納付を行ってください。

㊐村住民福祉課住民係☎㊾3113／日本年金機構☎0248㉗4165

第7回鮫川村フォトコンテスト

Samegawa Photograph Contest

さめがわの四季の移ろいを撮る 山紫水明

鮫川村の美しい農村景観の魅力を再認識するとともに、これらを広く村外に発信するために開かれている「鮫川村フォトコンテスト」。テーマは「鮫川村の四季を感じる風景」。村内外の63人から194点の応募がありました。審査会は11月11日に行われ、村カレンダーにふさわしい入賞作品が決まりました。

特選



氷の造形

鈴木　徹（茨城県）

準特選



【福島民友新聞社賞】

星降る天文台

山内壮介（棚倉町）

準特選



【福島民報社賞】

秋の里、鬼越

門林泰志郎（いわき市）

入選



笑顔でゴール
柏舘　健（いわき市）



清流
植田俊一（郡山市）



マイナスイオンを浴びて
芳賀伊津子（渡瀬字江竜田）



コスモス咲く里
坂本チヨ（福島市）



鮫川村花火
熊田行雄（鏡石町）



強滝を飾る
藁谷六朗（浅川町）



福寿草を守りて
柏舘光子（いわき市）



里山に霜の華
須藤　好（赤坂西野字名下）



収穫の喜び
佐藤源策（郡山市）

佳作



秋を映して
堀篭小百合（宮城県）



秋の庭先
遠藤十一（白河市）



紅葉彩キャンバス
大河内欽二（須賀川市）



鎮守様
矢作武一（古殿町）



新春の霊峰
柳下久志（矢吹町）

教育長コラム

昨年の秋、93歳になったばかりのおばあさんが丹精込めて育てたというニンジン、ネギ、ダイコン、サトイモなどをいただきました。そのお宅にお邪魔し、畑を見ました。野菜が1畝ずつ並んでいる所から無造作に取り、袋に入れてくれました。

東京方面に住むというおばあさんの子どもたちからは「ここの野菜は市販のものと比べ物にならないくらいおいしい」と言われているとのことでした。

ものは試しと思い、他の所から入手したものもあったので、それらの野菜を試食し、比較して驚きました。味が違うのです。野菜が持つ甘みと柔かさが違うのです。きっと、家を離れたお子さんは、その味が忘れられないのでしょう。おいしい訳は、肥料によるのか尋ねると、「昔からここの畑のものはうまいと言われている」と、笑顔で話をしてくれるだけでした。

奥貫　洋

ぼく・わたしの夢

〈第8回〉

鮫川小6年生



藤田百美さん

どんなお菓子でも作れるように

ケーキ屋さんやお菓子メーカーでお菓子を考える仕事など、お菓子関係の仕事をしたいです。友だちと作っているうちに、お菓子作りが好きになりました。どんなお菓子でも作れるようになりたいです。

人に優しくできる警察官に



生田目高広君

将来の夢は、警察官です。テレビなどで活躍している警察官を見て、人を守る姿がかっこいいと思ったからです。警察官には思いやりの気持ちが大切だと思います。人に優しくできる警察官になりたいです。



赤坂　陽さん

動物に優しいトリマーに

将来は、犬の美容師であるトリマーになりたいです。買い物に行ったお店にペットショップがあって、実際にトリマーを見たことがきっかけです。動物に優しくて、動物のことが詳しいトリマーになりたいです。

ふくしま駅伝に出て、誰よりも速く



舟木朝陽君

もっと速く走れるようになって、中学生になったらふくしま駅伝に出て、大人になっても続けたいです。そして、今年の29位より、もっと上の順位を目指したいです。誰にも負けないくらい足が速くなりたいです。

学校だより

（135）

青生野小学校編

おいしいみそになってね！

11月9日、16日、大豆の収穫と脱粒作業を行いました。大豆の刈り取りや乾燥などは岡部喜一郎さんが、機械を使った脱粒は村商工会の蛭田吉郎さんと白坂勝徳さんが指導してくれました。27年は、26年の経験を生かし、肥料の与え方や除草の仕方を改善した結果、約10kgの大豆を収穫できました。ふっくらとして、艶のあるおいしそうな大豆に子どもたちは大喜びでした。



11月25日、収穫した大豆でみそ作りを行いました。「手・まめ・館」の阿久津さんと岡崎さんにみそ作りの工程を教えてもらいました。材料を量ったり、混ぜ合わせたり、いろいろな作業を体験しました。子どもたちは、鮫川村自慢のおいしいみそ作りの秘密を学びました。来年の完成が楽しみです。

一生使う大切な歯を守ろう

11月20日、さめがわ歯科医院の歯科衛生士・前田春美さんを講師に迎え、「歯みがき教室」を行いました。毎年の歯みがき指導により、子どもたちは年々歯みがきの仕方が上手になっており、みがき残しも少なくなってきました。子どものうちから、正しい歯みがきの仕方を身に付けることは大切です。

前田先生のアドバイスによると、歯が生え替わる小学生の時期は、家族が仕上げみがきをしながら、口の中の様子を確認したほうが良いそうです。一生使う大切な歯を守るため、親子でふれ合いながら歯のケアをしてほしいということでした。



子どもたちは、歯みがきの大切さや正しい歯みがきの仕方を学ぶことができました。

（文・写真／青生野小学校）

漬物のパック詰めやコウゾの皮むき 昔から伝わる冬の仕事を体験

11月、ついに初雪が降り、鮫川村に本格的な冬が訪れました。早朝には、車や道路がキラキラと凍ってきれいに見えます。一方、私は今後の暮らしと雪道の運転に不安を抱える日々です。

12月は青生野小学校で読み聞かせを行いました。2回目の訪問でしたが、子どもたちは目を輝かせながら私の読み聞かせに耳を傾けてくれました。また、鮫川小学校でも読み聞かせや本棚の整理を行いました。こうした取り組みを通じて、子どもたちにも緑のふるさと協力隊の活動を知ってほしいです。

その他、関根のぶ子さんの所で漬物のパック詰めをしたり、齋須寛一さんのコウゾの皮むきを手伝ったりと、冬の仕事が始まっています。コウゾの皮をむく作業は初めてで、大きな窯で蒸されたコウゾは、蒸したサツマイモのような甘いにおいがしました。鮫川村は、昔コウゾを育てて皮をむき、それを売っていたと聞きました。鮫川村に古くから伝わる冬の仕事を体験できて感慨深いです。

原稿を書いているころは、2015年も終わりに近づいています。少し寂しい気持ちと今後の楽しみもありますが、精いっぱい活動をして鮫川村を満喫したいと思います。

昨年は大変お世話になりました。新年あけましておめでとうございます。2016年は申年ということで、私は年女です。残りの2カ月、悔いの残らないように過ごしていきたいです。どうぞよろしくお願いします。





上_コウゾの皮むき作業。コウゾを蒸して皮をむきやすくします／下_ふる里文化芸能発表会で民謡「会津磐梯山」を披露しました。こぶしをきかせて歌いました



青生野小の読み聞かせ。子どもたちは集中して聴いてくれました

facebook「緑のふるさと協力隊 in 鮫川村」
「いいね！」お願いします。

公開生放送で鮫川の魅力発信
風とロックCARAVAN福島

県内59市町村でふる里の魅力を発信する「風とロックCARAVAN福島」は11月21日、村農業者トレーニングセンターで開かれました。箭内道彦さん、奈良美智さん、石崎ひゅーいさんが出演したほか、箭内さんと地元住民が鮫川村の名所や名産などを紹介するトークショーを繰り広げました。



村の魅力を紹介したトークショー

19チームが白熱したレースを展開
舘山周回駅伝競走大会



一斉にスタートする選手たち

村体育協会主催の「第1回鮫川村舘山周回駅伝競走大会」は11月29日、宿ノ入、広畑、新宿、道少田地内を走る周回コースで行われました。大会には、体協レース部門、チャレンジ部門合わせて19チームが出場。白熱したレースを制して東石Aチームが体協レース部門の優勝に輝きました。

栄えある受賞

交通安全活動に尽力した功績認められ 大橋さんが「全日本交通安全協会長表彰」受賞



長年にわたり自動車の運転を通じて交通安全活動に尽力した功績が認められ、大橋邦次さん＝富田字前沼＝が優良運転者として「全日本交通安全協会長表彰」を受けました。表彰式は11月25日、棚倉警察署で行われ、表彰状などが手渡されました。

選挙の管理執行などに尽力した功績認められ 前田さんが「総務大臣感謝状」を受ける



「国民参政125周年・普通選挙90周年・婦人参政70周年記念」にあたり、選挙の管理執行などに尽力した功績が認められ、前田榮さん＝赤坂東野字官代＝が「総務大臣感謝状」を受賞。前田さんは2003年2月2日から選挙管理委員、07年2月2日からは選挙管理委員長を務めています。

中学生人権作文コンテストで 舟木さんが「白河支局長賞」を受賞



「全国中学生人権作文コンテスト福島県大会」において、鮫川中1年の舟木花さんが「白河支局長賞」を受賞しました。また、多数の応募があったとして、福島地方法務局長と県人権擁護委員連合会長から同校に感謝状が贈られました。

村政TOPICS

食と農業の大切さを学ぶ

学校給食用食材の生産者と子どもたちが会食する「食と農の交流会」は11月24日、鮫川小と青生野小で行われました。

子どもたちは生産者と給食を味わいながら農業や食の大切さを学んだほか、生産者への感謝の気持ちを新たにしました。



会話を楽しむ児童と生産者

年末年始の安全運転呼びかける

交通安全協会鮫川支部と村交通対策協議会は、年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動初日の12月10日、宿ノ入交差点で「交通安全テント村」を行いました。

関係者は、鮫川駐在所で出動式を行ったあと、通行するドライバーにチラシな

ほっとニュース

歌や劇を元気に発表
こどもセンターお遊戯会

さめがわこどもセンターのお遊戯会は12月5日、同センター体育館で開かれ、子どもたちが練習の成果を元気に発表しました。クラスごとに劇を発表したほか、幼稚園児による歌と合奏、得意技などが披露され、子どもたちの成長した姿に保護者からは大きな拍手が送られました。



大きな声でセリフをいう園児たち

宗田ユキさんの長寿を祝う
大正４年生まれ満100歳を迎える



表彰状を受け取るユキさん

大正4年12月1日生まれで満100歳を迎えた宗田ユキさん＝赤坂東野字官代＝に同日、自宅において県南保健福祉事務所の角田敏明健康福祉部長、大樂村長から長寿を祝う表彰状などが手渡されました。「くよくよしないことと、人の悪口を言わないことが長生きの秘けつ」と話しました。

午後４時になります…
冬休みの「声」は澤口さんと岡部さん



録音を行った澤口さんと岡部さん

冬休み期間中の夕方に流れる防災無線「冬休みの声」を担当しているのは、青生野小６年澤口琴音さん㊧、岡部梨音さんです。12月9日、役場放送室で録音を行った2人は「緊張せずに録音できました。私たちの声が放送されるのは少し恥ずかしいけど、楽しみです」と話しました。

高齢者を楽しませる
富田げんき支援隊がクリスマスプレゼントを

富田区の高齢者支援を行っている「富田げんき支援隊」は12月15日、毎月発行している「元気だより」のほか、クリスマスプレゼントとして「手まめ館」のおからドーナツを贈り、高齢者を楽しませました。受け取った坂本恵司さんとトシエさんは「2人で仲良く食べます」と微笑みました。



プレゼントを受け取る坂本さん夫妻

村政TOPICS

力作が並んだ文化祭作品展示

村文化祭行事の一環である「文化祭作品展示」は11月25日から12月1日までの7日間、村公民館で行われました。

会場には、村内の文化団体、個人、児童生徒、社会学級や公民館事業の参加者などの作品が所狭しと並べられ、来場者はその力作に感心していました。



多数の作品が並んだ会場



安全運転を呼びかける関係者

どを配りながら早めのライト点灯などを促し、年末年始の安全運転を呼びかけました。

村民【随想】リレー ―― ㉑⓪

常盤克博さん

「おかえり～」



ときわ・かつひろ●1979年６月泉崎村生まれ。石川郵便局（石川町）に勤務。趣味は読書。モットーは「一生懸命」。赤坂中野字伏木田、36歳。

妻の故郷である鮫川村に家族３人で移り住み約１年半が経ちました。生活にも慣れ、妻の両親の助けを借りながら育児や仕事に忙しくも楽しい日々を過ごしています。

父親になってあっという間の２年、子どもと一緒に過ごす時間をとても大切に思っています。新しい言葉や行動をどんどん覚えていきパパママのまねっこだけでなく、コミュニケーションがとれるようなときも多くなり、日々驚きや喜びを与えてくれます。仕事で疲れて帰ってきたときなどは特に子どもの「パパおかえり～」に癒やされています。

近い将来の目標は、結婚して以来増え続けている体重を元に戻すことと、仕事で帰りが遅くなることが多い妻や栄養がある物をたくさん食べてほしい子どものために料理をもっとできるようにしたいと思っています。ちなみに私がよく作る料理は「豚汁」です。

転勤を伴う仕事なのでこの先鮫川村を離れなければならないときが来るかもしれませんが、この地にいる時間を大切にいろいろなイベントなどにも参加させていただきながら家族でたくさんの思い出をつくっていきたいです。

■次号は、永田斉寿さん（赤坂中野字伏木田）にバトンタッチ！

俳句

縁側に大根干され秋日向　中井　恒峯
今年程柿のならない年は無し　北條素人坂
流行語大賞論じ冬向う　松本　精一
苔むした句碑に落葉の数あまた　前田　縫子
聞く効く聴くしまい忘れた風鈴きく　土　竜庵
ほっこりと母の形見のちゃんちゃんこ　齋須　信子
濡れ落葉煙ひとすじ今朝の景　山本　恵子
雪虫に誘われながら散歩道　鈴木　米子
梅擬あるぞ小鳥ら翔けて来い　山本五十鈴

短歌

御前山凛と立ちたり冠雪に衣替えして元旦の空に　鈴木イミ子
小和清水に産湯使えし玉代姫天性のものかも歌のこころは　佐藤　春枝
元気のいい園児をみれば頼もしき次代を担う力にあれば　矢吹　定子
野も山も白一色に輝かせ自然は咲かす冬への花と　須藤　幸子
夕かげの花に伸びたる己が影今日一日の無事に感謝す　水野　珠子
作れば育つ旬のものとして菜も大根もじゅうねんも亦　溝井　清乃

さめがわを彩る集い 45

学年関係なく協力して活動を



修明高鮫川校家庭部

菊地万里奈部長／10人

修明高鮫川校家庭部は週3日、調理実習、手芸や園芸など、幅広い活動を行っています。部活動を掛け持ちしている生徒がいるため、毎日活動することはできませんが、学年関係なく協力して取り組んでいます。

11月に行われた「第12回村アイディア料理コンテスト」では、同部Bチームが応募した「えごまマドレーヌ」が最優秀賞に輝きました。エゴマとマドレーヌを組み合わせるという高校生らしいアイデアが審査員の心をひきつけました。「みんなが食べやすいお菓子にしました。考えるのは大変だったけど、作ってよかったです」と、受賞の喜びを話しました。

Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

ペットボトルキャップで作るこもの

高橋ひとみ編集、ブティック社



身近な素材の「ペットボトルキャップ」。普段なら処分してしまうキャップをアップサイクルして、エコでかわいい小物を作ってみませんか？　ピンクッション、小物入れ、アクセサリーなど、幅広いエイテムを紹介します。

大人らしさって何だろう。

大網理沙編、文響社



年齢を重ねれば誰でも大人になっていくものですが、本当の意味での「大人になる」とは…。私たちが普段何となく済ませてしまっていることを、「大人らしいかどうか」という視点で見直します。本当の意味での大人になる方法を考えます。

第３土曜日は **家族一緒に読書の日**

雑草は花を咲かせて迎えたり畑の道を辿れるわれを　坂本　伊紀
かなかなの声もかぼそくなりにけり錦に染まる山となりゆく　本郷　千代
大空に冠雪をして聳え立つ富士の姿は見るべかりけり　一　平　子
新年を無事に迎えて満面に笑みを浮かべつ初日に祈る　石井　幸子
身と家族の幸せ願う新年に昇る初日の輝き受けつつ　須藤シツエ
身の怪我に過ぎし年の瀬新たなる希望を願え新年迎えむ　前田喜三子
年重ねこれからこそは前向きに無理無き日々を歩み行きたし　関根ヨネ子
西空に鉄塔並ぶ山並みに鳥飛び交晩秋の夕暮れ　藤田千代子
時代変わりタンガラ背負う姿消え犬と一緒に農道を行く　関根ハナヨ
新たなる昇る朝日に願い込め家族の幸福多かれと祈る　板橋　源良
霜降りても尚咲つげる四季桜冬の桜の花影かなし　関根キヌ子
国の為散りし尊い若櫻追悼の霊柱よ安らかに眠れ　矢吹　一二
冬将軍軒端を巡り吹き荒れる隠居の戸障子音立てながら　北條　平



始めて４年、とにかく楽しくやることを心がけているというキノさん

あなたの光る技
キラり
Vol.42



「パステル」という画材で陰影を表現することもあるといいます。軽快に手を動かすキノさん

押し花
岡部キノさん
おかべ・きの／富田字前沼／73歳

本物にしか出せない色が魅力
友人が増え、楽しみも増えた

なじみのある押し花ですが、岡部キノさんは、押し花で、花だけでなく、風景、建物、果物などを描きます。一見すると、押し花には見えません。

材料は花だけでなく、葉、木の皮、コケなども使います。それらを「押し花シート」と和紙ではさみ、約1週間、重石を乗せて水分を抜きます。そのようにして作られた押し花のほかに、和紙で光と影を、「オーガンジー」という専用紙で奥行を表現します。「絵具では表現できない、本物にしか出せない色がある」と魅力を話します。

また、押し花教室に参加したことで友人が増え、キノさんの生活はさらに張りのあるものになりました。月1回の教室の日を「押し花の日」と決め、友人と心行くまで楽しんでいます。

「仕事を辞めたら、人を集めて押し花をやりたいです。鮫川村でもやる人が増えたら、さらに楽しいでしょうね」と目を輝かせます。

頼まれて作ることも多いというキノさん。「孫が結婚式を挙げるときにも、写真を入れて作りました。作品を前で披露してくれたときはうれしかった」と顔がほころびます。

若者の広場　No.133

Young Plaza

矢吹彩音さん

鮫川は子育てしやすい環境



やぶき・あやね
1994年10月18日生まれ　21歳
B型　てんびん座
趣味はバレーボール
赤坂東野字遠ヶ竜

★今、夢中になっていることは？

ママさんバレーボールです。なかなか運動する機会がないので、毎回楽しんでいます。

★これからチャレンジしてみたいことは？

娘がもう少し大きくなったら、一緒にスポーツをやりたいです。ママさんバレーボールの練習に連れていくと、喜んでボール遊びをしています。

★鮫川村に住んでいて感じることや好きなところは？

子育てしやすい環境だと思います。こどもセンターは時間の融通が利いて、預けやすいです。そのおかげで、仕事もしやすいです。自然の中で子育てできるので、子どもにとっていいと思います。

★鮫川村に要望などはありますか？

小さい子どもが遊べるような公園がほしいです。舘山公園は、小さい子どもが遊ぶには道が険しかったり遊具が少なかったりするので難しいです。公園が村の中心部にできれば、「手まめ館」で食事や買い物もできるのでいいと思います。

■

2月は、芳賀明日香さん（西山字鍛治平在住）の予定です。

今月の一品

さめがわレシピ



おからの茶碗蒸し風

20年度アイディア料理コンテスト最優秀賞作品

■材料（４人分）

おから…100g　まぜごはんの素…1/2袋　卵…５個
しょうゆ…大さじ３　酒…小さじ１　みりん…小さじ１
砂糖…大さじ１　ネギ…1/4本　片栗粉…少々
かまぼこ…1/4本

■作り方

❶おから、まぜごはんの素を混ぜる（味付けは、まぜごはんの素の汁）。
❷卵を溶きほぐし、裏ごしする。
❸❶と❷を混ぜ、器に入れて蒸し器で５分蒸す。
❹鍋にしょうゆ、酒、みりん、砂糖、小口切りにしたネギを入れ、煮立ったら水溶き片栗粉でとろみをつける。
❺蒸し上がったら、かまぼこを飾り、❹をかけて出来上がり。



塩田恵美子さん（44）富田字鍬木田

紹介者から一言

「まぜごはんの素」を使い、簡単に作れるように工夫しました。おからを溶き卵に入れて少し置いておくと、おからが水分を吸ってしっとりふっくら仕上がります。

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

ごみの減量化に協力してください

東白クリーンセンターは、ごみ焼却施設の老朽化に伴う基幹的改良工事を行っています。28年1月から3月までの期間、工事の都合上、燃えるごみの焼却処理が困難になりますので、改めてごみの減量化、分別徹底に協力してください。ごみの直接搬入は今までどおり行いますが、焼却処理が困難なため、できる限り搬入を控えてください。

問 東白衛生組合☎㊸0378

農業委員会等に関する法律が改正に

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員会委員の選挙制度が廃止されました。これに伴い、農業委員会委員選挙人名簿の調製は行わないことになり、今後は農業委員会委員選挙人名簿の登載申請は不要となりました。

問 村農業委員会☎㊾3197

国の教育ローン

日本政策金融公庫が取り扱っている「国の教育ローン」は、高校、大学、短大、専修学校、各種学校などに入学・在学するお子さんがいる家庭の経済的負担の軽減と教育の機会均等を図るための公的な融資制度です。

利用資格 大学、大学院、短大、専修学校、各種学校、高等専門学校、高等学校などに入学・在学している人の保護者（世帯の年間収入に上限があります）

使途 入学金、授業料、受験費用、入在学のための住居費用、教科書代など

その他 詳細は日本政策金融公庫教育ローンコールセンターに問い合わせてください。

問 日本政策金融公庫教育ローンコールセンター☎0570-008656

里親入門講座

日時 2月23日㊋10時～11時30分

場所 郡山市中央公民館「第3・第4講義室」

対象者 里親、子どもの福祉に関心のある人

内容 ①講義②養育里親による体験談

申し込み 2月16日㊋までに、県中児童相談所に電話またはファクスで申し込んでください。

問 県中児童相談所☎024-935-0611／FAX024-935-0618

毎月8日は「歯の日」です

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

1月の担当は――

鮫川幼稚園

泉田悠愛ちゃん
木村隆一君
関根はなちゃん



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
後期高齢者医療保険料(第6期)
※納期限：2月1日(月)

information

保健

25年3月31日までに小児用肺炎球菌ワクチンなどを受けた人へ

ヒトパピローマウイルスワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを25年3月31日までに接種し、接種後に何らかの症状が生じて医療機関を受診した人は、接種との関連性が認められた場合、医療費・医療手当が支給されます。

認定を受けるためには、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）に請求する必要があります。また、支給対象となるのは、請求日からさかのぼって5年以内に受けた医療に限られますので、至急請求してください。

具体的な請求方法や必要書類などは、PMDAの相談窓口に問い合わせてください。

問 独立行政法人医薬品医療機器総合機構救済制度相談窓口☎0120-149-931

弁護士によるB型肝炎特措法電話相談

集団予防接種によるB型肝炎患者に対する給付金支給特別措置法および認定手続きについて、弁護士が相談に応じます。相談は無料です（通話料はかかります）。

日時 2月13日㊏10時～15時

相問 全国B型肝炎訴訟新潟事務所☎025-223-1130

相談

原子力損害賠償巡回法律相談

県は、原子力損害賠償請求手続きなどについて、弁護士による法律相談を行います。相談は無料ですが、事前予約が必要です。

日時 1月21日㊍13時30分～15時45分

場所 白河商工会議所2階「交流室」

対象者 原子力事故に伴い損害を受けた個人または事業者

予 県原子力損害対策課☎024-523-1501

問 県南地方振興局復興支援・地域連携室☎0248㉓1524

司法書士による無料相談会

白河司法書士総合相談センターは、不動産登記や会社登記、相続・遺言、多重債務、少額の裁判、成年後見などについて、相談に応じます。相談は無料ですが、事前予約が必要です。

日時・会場 ▼1月21日㊍13時～16時・須賀川中央公民館2階「OA研修室」▼2月4日㊍17時～20時・白河市産業プラザ人材育成センター

予問 白河司法書士総合相談センター☎0248㉓1785

むし歯のない子

11月11日実施の3歳児健診

11月11日に村保健センターで行った3歳児健診で、むし歯のなかったお子さんは、受診児7人中6人でした。（①保護者②むし歯にならないために頑張ったことなど）



小松夢來（ゆら）ちゃん　渡瀬字上
①父・雅和　母・美江
②毎日歯みがきを頑張っています。



関根爽司（そうし）君　西山字大平
①父・千弥　母・かおり
②毎日歯みがきを頑張っています。仕上げも上手にさせてくれるね。これからも一緒に頑張ろうね。



澤口実莉（みのり）ちゃん　青生野字世々麦
①父・誠治　母・めぐみ
②大好きな歯みがきの歌を歌いながら、歯みがきを頑張りました。



根本 彪（れお）君　赤坂東野字広畑
①父・彰　母・梓
②毎日頑張って仕上げみがきまでやっています。「歯ブラシをしないとお口の中に虫がいるんだよ」と言い聞かせています。



佐々木梨夢（りむ）ちゃん　渡瀬字木之根
①父・敦　母・明子
②毎日、ご飯が終わってから自分でみがいて、最後はパパやママが楽しく仕上げみがきをして頑張りました。



大平千華（ちか）ちゃん　渡瀬字北中ノ町
①父・剛　母・明香
②おやつのとき、甘いお菓子の量を減らしました。

January
1

㊡＝休日当番医　［公］＝公民館　［図］＝図書館　［保］＝保健センター
［ト］＝農業者トレーニングセンター　［こ］＝こどもセンター

火	水	木	金	土
			1/1 元日 ㊡和田医院（棚倉町） ☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日 ●「すまいる」定休日	**2** ㊡金澤医院（矢祭町） ☎46-2312 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日 ●「すまいる」定休日
5 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面）	**6** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日	**7** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**8** ●幼稚園、小・中学校 始業式 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**9**
12 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面）	**13** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●やまぶきの会… 10:00 ～ 15:00[保]	**14** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●やまゆり保育室［こ］	**15**	**16**
19 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**20** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●心配ごと相談 ●やまゆり乳児室［こ］ ●６～７ヵ月児健康相談、10 ヵ月児健診 ●おはなしの森	**21** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**22**	**23**
26 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**27** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**28** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面）	**29** ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**30**
2 ◆送迎車運行日 （西野・西山・富田方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保]	**3** ◆送迎車運行日 （中野・東野方面） ●「さぎり荘」定休日 ●「手まめ館」定休日	**4** ◆送迎車運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00 ～ 15:00[保] ●わくわく図書館ひろば…16:00 ～ [図]	**5** ●やまゆり保育室［こ］	**6**

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

11月届け出分・敬称略



鈴木　唯楓（いぶき）・男
平27.11.1生
住所…鐘搗堂
保護者…大輔・愛子

おくやみ

11月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
西野内	関根　義明	10.31	65歳
中沢	石井清重郎	10.31	87歳
大平	関根ミツエ	11.9	87歳
上	鈴木　實	11.10	81歳
羽双	棚井　イノ	11.12	95歳
芦ノ草	円井フチイ	11.24	88歳
中沢	矢吹　三郎	11.30	87歳

人の動き

12/1現在・（　）は前月比

人口	3,773人	（−7）
男	1,903人	（−1）
女	1,870人	（−6）
世帯	1,154戸	（−2）

寄付寄贈

11月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…栗原順一（鍬木田）　石井世志美（東京都）　関根直樹（西野内）　佐藤三郎（火打石）　鈴木敏和（上）　棚井正治（羽双）　蛭田誠司（中山）　矢吹勝美（中沢）

■**教育、歴史文化の保存に関する事業のために[金員]**…瀧田雅哉（茨城県）　永山悦子（東京都）

※お誕生、おくやみ、寄付・寄贈欄への掲載を希望しない人は、届け出の際に申し出てください。

●おわびと訂正

本誌12月号14ページ「あなたのキラり光る技」で誤りがありました。おわびして訂正します。

（**正**）ペーパークラフト
（**誤**）紙バンド

編/集/後/記

■新年あけましておめでとうございます。ことしも読まれる、伝わる、必要とされる「広報さめがわ」を目指し、皆さんと一緒に作っていきたいと思います。引き続き、ご協力よろしくお願いいたします。（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
3 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「さぎり荘」臨時営業…14:00～20:00 第1日曜日は環境美化の日	**4** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●「さぎり荘」臨時営業…14:00～20:00 ●役場仕事始め ●消防団出初式
10 ㊡深谷クリニック（棚倉町）☎33-3223 ●鮫川村成人式…10:00～[公]	**11** 成人の日 ㊡車田病院（塙町）☎43-1019 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
17 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 ●文化財防火デー火災防御訓練	**18** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4ヵ月児健康診査・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院
24 ㊡塙厚生病院（塙町）☎43-1145 ●村親善インディアカ大会	**25** ●図書館休館日 ●トレセン休館日
31 ㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528	**2/1** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●後期高齢者医療保険料納期限

年末年始を明るく照らす

村内3ヵ所でイルミネーション点灯



真坂農村公園

★真坂三矢会（矢吹浩美会長）

設置場所　赤坂中野字真坂地内
点灯期間　2015年11月29日㊐～2016年1月上旬
点灯時間　16時30分～22時



遠ヶ竜ふれあい公園

★遠ヶ竜中山間集落協定（森康治代表）

設置場所　赤坂東野字遠ヶ竜地内
点灯期間　2015年12月13日㊐～2016年1月11日㊊
点灯時間　17時30分～24時



農村体験交流施設「山王の里」

★さめがわライフサポート（蛭田晃代表）

設置場所　渡瀬字中野町地内
点灯期間　2015年11月28日㊏～2016年1月末日
点灯時間　17時～23時

こちら 村長室

▼私の一日の始まりは、愛犬ラッキーの散歩からです。毎朝6時を目安に出かけます。真冬の6時は薄暗く、ラッキーもまだ眠たそうです。▼犬を飼って初めて、早起きして犬の散歩をする楽しさを実感できました。私は、日の出前の朝焼けの景観が好きです。月がまだ残っている大空に浮かぶ雲をキャンバスに、朝日が、毎朝違った景色を描いています。ただ、雲のかからない晴天の日もあり、そのときはさみしい景観となります。雲はたくさんあるより、少し遠慮がちに所々あるほうが美しい朝焼けを作り出します。同じ景色はなく、毎日が新しい発見のある感動の朝の景観があります。冬には冬の厳しい寒さの中の景があり、夏には夏の酷暑を予感させる景があります。▼それから少し待っていると日の出となります。今日という一日を元気にスタートできるようにとエネルギーの充電です。太陽は何時も私たちを温かく見守ってくれているようです。今年も太陽の恵みを、村民の皆さんで享受できる一年でありますように願うところです。

大樂勝弘

広報 さめがわ Public Relations SAMEGAWA
1 January 2016
平成28年1月1日発行（毎月1日発行）
第741号（昭和27年9月創刊）
発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場企画調整課
〒963-8401　福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5